

第 4 回 泉中学校再編検討委員会 会議録

日時	平成28年5月24日（火）19時00分～21時00分
場所	泉市民館
出席者	委員（23名） 山内敏久、山内六男、伊藤公夫、伊藤正幸、渡辺直樹、高平哲夫、山田友行、檀林清和、太田完一、鈴木福治、内山正弘、樺山節生、川合正泰、千賀幸子、木村勇人、花井 充、千賀洋一、清水千里、千賀暁子、伊藤久恵、中村八重美、山上高弘、赤崎晴彦（代理） 事務局（8名） 花井教育長、大根教育部長、三竹教育総務課長、鈴木学校教育課長、大羽企画課長、小久保渥美支所地域課長、伊藤教育総務課課長補佐兼係長、宮嶋教育総務課主任
欠席者	鈴木保博委員、千賀修治郎委員、山本忠史委員
傍聴者	1名
事務局	開会
教育長	<p>皆さん、こんばんは。5月も下旬となって、新緑が一段と輝くころになりました。今夜は御多用の中、そしてお疲れの中、泉中学校の再編検討委員会にお集まりいただき、大変ありがとうございます。私は教育長の花井 隆と申します。どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>昨年から教育長をやっているわけですが、この間、1年間ずっと入らせていただきまして、いろいろ意見をいただきました。ことしに入り、およそ1カ月前に渥美地域と赤羽根地域の各コミュニティ協議会の会長さん、さらに学校再編にかかわる学校の小中学校の校長先生にも集まっていたいで、本年度、伊良湖岬中学校の統合検討委員会と泉中学校再編検討委員会についてのあり方等などについて御意見を伺ってまいりました。</p> <p>赤羽根中学校区や福江中学校区の統合を受け入れていただく側にも、さまざまな情報が欲しいという御意見もいただきまして、相手先にもできるだけ説明をしながら、礼を尽くして、これからも進めていきたいなと思ひます。</p> <p>本日の会議は、昨年度までのメンバーに残っていただきまして、さらに新たなことしのメンバーが加わって、新体制でスタートとなりました。昨年度末までに泉中学校の行き先や統合の時期等について、決定することができませんでした。決してのんびりやっているわけではなくて、いろいろな意見を聞いていく中で慎重に会を進めてきた結果と私なりに感じております。</p> <p>本日は事務局から今までの経緯や、昨年度までの意見やアンケートの結果等を説明いたしますので、よくお聞きいただきまして、遠慮することなく質問や御意見を出していただきまして、進めていけたらなと思ひます。</p> <p>また、今後のスケジュール等も御確認いただきまして、先ほども言ひましたが、2学期の中で統合先や統合時期を決定していけたらなというように、早目に決定ができれば、次への準備がスムーズにいくのではないかなと感じております。</p>

	本日はどうぞよろしくお願ひいたします。
事務局	平成 28 年度第 1 回目の会議ですので、皆さんの紹介を自己紹介でお願いします。 名簿の順に、泉校区コミュニティ協議会長さんからお願いします。 ・委員紹介、事務局紹介…自己紹介
事務局	再編検討委員会について（資料 1 により説明） ・泉中学校再編検討委員会設置要綱等
事務局	昨年度から引き続きの再編検討委員会となり、本日は第 4 回目の開催となります。 今年度の委員長が決まるまで、昨年度の委員長であります前校区コミュニティ協議会長の山内委員長に進行をお願いします。
平成 27 年度委員長	平成 27 年度委員長の山内と申します。 協議事項 1 委員長の選出について議題とします。 設置要綱第 5 条の規定により、委員長は、委員の互選によるとなっておりますが、年度も変わりましたので、委員長については、今年度の校区コミュニティ会長の山内敏久さんをお願いしたいと思いますが、御異議ございませんか。
	(異議なし)
平成 27 年度委員長	ありがとうございます。 御異議もないようですので、そのように決定しました。 山内敏久校区コミュニティ協議会長に委員長をお願いしたいと思います。 ここからは、新委員長に会議の進行をお願いします。
委員長	委員長を務めさせていただきます、泉校区コミュニティ協議会長の山内です。 泉中学校の再編について円滑に協議を進めていきたいと思っておりますので、皆さまのご協力をお願いします。 次に、協議事項 2 副委員長の指名についてですが、設置要綱第 5 条の規定により、副委員長は、委員長の指名によるとなっておりますので、江比間自治会長の伊藤公夫さんに副委員長をお願いしたいと思います。副委員長からあいさつをお願いします。
副委員長	あいさつ
委員長	次に、協議事項 3 泉中学校の再編について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料 1、2 により説明) ・児童生徒数見込 ・生徒数見込、児童数見込 ・再編の基本方針 ・学校再編の全体配置計画 ・泉中学校の再編について ・泉中学校統合についてのアンケート ・伊良湖岬中学校及び泉中学校の再編について
委員長	ありがとうございました。 事務局の説明が終わりました。御意見、御質問などがございましたらお願いします。
委員	伊良湖岬中学校と泉中学校が同時に赤羽根中学校、福江中学校へ行っても、入るキ

	ヤパシティはありますか。
事務局	福江中学校についてはあります。赤羽根中学校は、クラス数によっては足りなくなる可能性があります、その場合は、教室の増設などで対応します。
委員長	ほかにございますか。
委員	学校見学会のお便りを子どもがもってきて、子どもも見たいと言っていた。子どもたちが学校を見学する機会はないですか。
事務局	学校見学会では授業参観と、学校の概要説明があります。 学校見学会は保護者向けで学校と相談の上、計画したものです。
委員	行くのは子供たちですが、外観しか見られないということですね。
事務局	子供さん対象の学校見学会は、具体的に計画はしていません。
委員	はい、わかりました。
委員	やはり主役は子供。子供にも地域性があると思う。いきなり統合と言っても、恐らくなじめない子も出てくると思う。統合の候補に挙がっている学校の子と交流したほうがいいのではないかと思うのですけれども、どうですか。
事務局	ことし統合しました野田中学校と田原中学校については、統合が決まった後でスムーズにお互いの生徒同士が溶け込めるよう何回か生徒同士の交流をしております。 かなり前の段階で交流を希望するというのでしょうか。
委員	私は、それが理想だと思う。
事務局	交流の仕方は、学校とも相談の上、またよく考えさせていただく必要があります。
教育長	<p>私が実は少し前までは田原中学校の校長で、その前は野田小学校の校長をやっていたので、今、田原中学校へ行っている子は、私も、野田の子も田原の子も大体顔は知っています。</p> <p>野田の子はとてもよく頑張っていて、明るく、学級によってはクラスを引っ張っていると、これは田原中学校区の人が言ってくれていました。野田の子は、バスで通いながら一生懸命やっているという声が届いています。</p> <p>中学校の統合について大変心配をしているわけですが、心配を超えて子供たちが頑張ってお互いにいい中学校生活を送ろうということで、このふた月の段階ではいい声がたくさん聞こえてくるので、今のところはよかったかなとは思っているのですけれども、絶対、統合してよかったと思えるような統廃合にしたいと思って、今、こうやってゆっくり、去年も 1 年間、話を聞きながら来ました。内容的にも煮詰まった部分があって、泉のメンバーの中でも、もう少し早く決めたらどうですかという意見も聞いていますが、新たなメンバーをことし加えて、しっかりみんなの意見を聞く中で、できるだけいい結論を出していきたいという思いできょうもやっているのです、そういう意見をいろいろ出していただいて、余り疑問がないすっきりした形で進むといいかなと思っています。</p> <p>先ほどのスケジュールの説明の中で言いましたように、2 学期ごろのどこかで統合先と統合時期を決められるかなと思っています。統合先決定後、統合準備委員会をつくり、中学校同士の交流、学年同士の交流等、いろいろな準備を進めていきたいと思</p>

	っています。またそこで御意見を出してもらって、いいゴールインができるように、みんなで一緒に考えていきたいと思いますので、いろいろな御意見をお出しいただきたいと思います。
委員長	<p>泉地域は、保育園から小学校、中学校まで、そのまま上がってきているので、統合前にできるだけ数多く交流をしていくように教育委員会で検討していただきたい。</p> <p>あわせて小学校も交流を数多くやって、あそこへ行くんだな、あの場所の、ああいふ学校だなということが意識の中にあれば楽に統合先に行けるのではないかと思います。</p> <p>ほかに何かございますか。</p>
委員	<p>防災、津波対策のことについて、アンケート結果では「赤羽根中学校がいい」、「海拔が高いので、少しでも高いところに行きたい」とか、そういう声が多く見られるのですけれども、実際、最近の田原市の見解というのは、引き渡しの経路なども考えた上で、保護者が思っているような、赤羽根中学校のほうが安全という感覚で受けとめてよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>赤羽根中学校のほうが海拔は確かに高いです。ただし、福江中学校も、学校自体は浸水地域ではありません。行く経路によっては、赤羽根中学校に行く場合は、低いところを通る可能性は少ないのかもしれませんが。福江中学校へ行くと、少し低いところを通る可能性はあります。</p>
事務局	<p>赤羽根中学校の海拔は、20メートルぐらい。福江中学校が海拔6メートルぐらいです。いずれも浸水区域ではありません。福江中学校側は通学路によっては、浸水域が出てきます。</p>
委員	<p>南海トラフ、東南海地震など状況は変わっているので、やはり保護者としては、より安全なほうを望むので一概には言えないと思いますけれども、新しい情報があったら教えていただきたいと思います。</p>
事務局	わかりました。
委員長	ほかにございますか。
委員	<p>野田中学校は路線バスで登下校して、部活動も始まっていると思うのですが、その際の路線バスの混みぐあいとか本数など、そういうのは現状、何らか影響は出ておりますか。</p>
事務局	<p>部活動が終わる時刻に一番多く帰るのですけれども、その最終下校時刻にあわせて1台バスが追加されて動いています。</p> <p>現状では、高校生がたくさん乗って乗れなかった例も聞いています。けれども、後からの便が来れば、おおむねスムーズに帰っていけています。高校生などの帰宅時間が多少ずれて早い便に回ったりして乗れなかったとか、満員だったという状況はあります。</p>
委員	<p>泉地域は、赤羽根中学校へ行こうが福江中学校へ行こうが、スクールバスですね。</p>
事務局	そのように考えております。
委員	<p>スクールバスの場合、部活動等が遅くなれば、それなりの本数を用意するというこ</p>

	とでしょうか。
事務局	事例で言いますと、今、伊良湖岬小学校でスクールバス通学をしております。低学年が帰る時間、高学年が帰る時間、部活動が終了後に運行しております。中学校についても、下校時刻にあわせた運行を考えていきたいと思っております。
委員	泉地域では、スクールバスの台数は何台ですか。
事務局	今の人数ですと 2 台程度を想定しています。
委員	夏休みなどの対応はどうなりますか。
事務局	夏休みの全校出校日なども運行します。ただ、夏休みの部活動などでは、例えば、ある時間帯を決めて運行するようになるのかもしれませんが、それは部活動の始まる時間などを考慮しながら運行時間を検討していくこととなります。
教育長	休日や長期休暇中の部活動へのスクールバスの対応などは、少し協議をしていく必要があります。特に夏休み中の部活動については、始まる時間や終了時間を考慮して検討していく必要があるかと思えます。
委員	福江中学校へ行く場合は、路線バスが走っていますが、赤羽根中学校に行く場合に自転車でいくと大変危険だと思われる。
教育長	ただ、部活動で、土曜日に学校で練習する場合とは別に、練習試合に行くこともあります。そうすると、田原中学校では三河田原駅集合という場合も結構あります。そういうときには保護者の送迎が必要な場合も考えられます。 野田中学校の例に学びながらやれる部分がありますので、先に行った学校の様子を見る中で、また私たちがなりの対応ができるのではないかと思います。
委員	どちらかに行った場合、どうなってしまうかが、親御さんにとって、一番問題になってくる。 泉校区としては、泉中学校はなくなってしまうわけではない。至らないところを吟味しながら決めたほうが、みんな落ち度がなくてうまくいくのではないかとあって、ちょこちょこ足踏みをしたわけです。先例となる野田中学校のことをよく聞いて、情報を精査して、なるべくスムーズに統合ができるようにしたほうがいい。
委員長	ほかにございますか。
委員	例えば赤羽根中学校へ行く場合には、路線バスが通っていないので、スクールバスを使うことになると思います。 それから、福江中学校へ行く場合にはスクールバスと聞いておりますが、最終的に路線バスを使うようにはなりませんか。
事務局	路線バスの運行時間や定員の関係もありますので、今のところスクールバスを考えています。
委員	ただ、野田中学校は路線バスを使っています。 泉校区から福江校区には路線バスが走っているので、ひょっとしたら、そのようになるのかなと思いました。
事務局	朝の通学時間帯には、野田地域から田原中学校へ行く便は、今でも同一時間帯に 2 台運行しております。一方、こちらは 1 台しか走っていません。そういう状況を考え

	ると、路線バスを使うのは難しいと思っております。それで、この会でも、どちらの学校へ行く場合でもスクールバスという説明をさせていただいています。
委員	例えば、路線バスを運行してもらう場合、校区の負担はありますか。
事務局	ありません。
委員	試算では年間 1 台幾らぐらいを想定していますか。
事務局	距離や時間も考慮する必要がありますが、伊良湖岬小学校で運行しているスクールバスでは、年間、1 台 1,000 万円ぐらいです。
委員長	ほかにございますか。 次に、4 意見交換に入りたいと思います。 その前に、平成 28 年 4 月 1 日から野田中学校が田原中学校に行きました。そこでの様子はどうですか。
事務局	大きな問題になっていることは、学校からは上がってきておりません。やはり通学 に若干時間がかかるものですから、子どもたちの疲れぐあいとか、そういったものは 学校も気をつけています。 それから、4 月当初は、バス停などに田原中学校の教員なども出向いて、安全対策 であったり、無事にきちんとバスに乗れるかというのを見届けたり、学校も、まずな れるまでは、今まで、特に小学生だった中学 1 年生の子たちは、バスへ乗って遠くま で行くということ自体がなかなか精神的にもやはり疲れたり、心配な部分もあったも のですから、できる限りの配慮をさせていただきながら、無事に 4 月、5 月を来てい るかなと今のところ感じております。
委員長	ありがとうございます。 これで 1 か月半たちました。今後、問題が出る可能性もありますので、随時情報提 供をお願いしたいと思います。 それでは、意見交換に入ります。学校再編について御意見をお聞かせください。事 務局の説明、質問等でも結構です。
委員	学校の再編について真剣に考えてきたのですが、やはり再編すると保護者の負担が 大きくなると考えられます。我々も再編するときは、福江中学校の路線バスがあれば 少々おくれても、部活動その他でも大丈夫ですが、赤羽根中学校だと、よほどスクー ルバスでフォローしていかないと保護者の負担が非常に大きくなると心配しており ます。
委員	本当に難しいと思うのだけれども、多分学校とか教育委員会に問題が出てきたとき というのは、ニュースなどで聞いた世界で言えば、多分最悪の状態に入っていること も考えられます。だから、いじめなど気をつけるためにも、子供の生活の変化とか小 さいところから見極めてもらいたいと思います。
委員	私としては、どちらに行くにしても、先ほど前校区長が言われたように、仮に赤羽 根中学校に行くとなると、親御さんの送り迎えの負担というのは、まず考えていくこ とになります。 あと、子供たちは、どちらに行くにしても、まぜてもらわなければならないので、多少の負

	<p>荷はいたし方ない。まずは、どちらの学校にしても学風というのがあるものですから、それになじんでいく。泉の子たちもなじんでいくというのは、どの世界でも同じことなので、私とすれば親御さんたちが心配しているよりは、今の子どもたちはなれていくものだと思います。</p> <p>ただ、通学手段などについては、我々がいろいろと考えていかななくてはならないと思っています。伊良湖岬中学校と統合の決定時期が一緒になってしまったものですから、石橋を叩くことはままならなくなりましたが、できるだけ考えるべきことは考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>今回初めてこの会に出させていただきます。去年から委員の方々がいろいろ考えて、いろいろな意見をもんできたのだと思います。自分もこの会議に出席して、最終的な決定権はどこにあるのですか。この会議で決まるのですか。このメンバーで決めるのか、またアンケートをとって決めるのか。</p>
委員	<p>最初の説明で、我々は再編検討委員会の意向を伝えるだけで、決定権は教育委員会にあります。</p>
事務局	<p>最終的には、教育委員会で決めることになります。今後、教育委員会が示した方向性について、皆さんで協議していただき、意見をまとめて、再編検討委員会としての方向を決めていただきます。それを教育長にいただいて、教育委員会として最終的に決定していくことになります。</p>
委員	<p>この場で意見を一つにまとめるのですか。</p>
事務局	<p>はい。例えば、こちらで方向性を出したときに、それに対して、御意見をまとめて承認、了解していただくなど、そういったことを行っていきます。</p>
委員	<p>泉中学校再編検討委員会設置要綱を見ますと、第 6 条に、「会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない」とか、「会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる」とあります。この場で決めるのではなくて、自分たちはあくまでも意見をまとめるというか、どういうことでしょうか。検討委員会での検討は、今までもしてきたと思うのですが、過半数で決定することはあるのですか。</p>
事務局	<p>教育委員会としては、7 月に皆さんに対して統合先などの案を示していく予定です。それに対して、皆さん全員一致で了承となれば、そのとおりに報告していただいて、それを受けて教育委員会で最終的に決定する運びになっていくわけです。</p> <p>例えば、委員の中で意見が分かれたときには、決をとることもあるということです。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
委員長	<p>泉中学校再編検討委員会設置要綱の第 2 条で、この委員会は中学校の再編に関して統合先と統合時期を協議して、方向性を出して、教育長に報告するとなっています。</p>
委員	<p>教育委員会では、再編検討委員会が出た結果は十分重んじていただけるのですか。</p>
教育長	<p>最大限尊重したいと思っています。そうなるように、今、ここで時間をかけてやっていますので、少なくともここで決めたことがひっくり返るなどということはなく、差し戻すかもしれませんが、ほぼそういうことがないように、去年からずっと慎</p>

	重に、ゆっくり、積み木を積んでいるようにして、結論をつくらうとしているのです。
委員	わかりました。
教育長	間違っても教育委員会が強引に決めることはありませんので、地元の意見を最大限尊重する中で進めていきたいと思っています。相手方もありますので、相手にも受けてもらえる状況をつくって、最後に教育委員会で決定していきたいと考えています。 伊良湖岬小学校、野田中学校の統合の場合に、「結構決まるのが早かった」という意見もあるので、今、議論をできるだけ尽くして、皆さんの意見を最大限に尊重して、この会でまとめて、それを教育委員会で決定、イコールにできたらと思っていますので、この場でできるだけ意見を出していただきたいと思います。
委員	10月以降の両校の統合準備委員会は、このメンバーで開催するのですか。
事務局	校区会長、自治会長やPTAの方など同じようなメンバーになるかと思います。
教育長	PTAの方々に御意見を出してもらって、統合するときには、いろいろな問題点を全部クリアしていけるように統合準備委員会を進めていけたらと思っています。
委員	やはり子供が一番当事者なので、父兄の方々の意見を尊重していただきたいということ、できるだけ早く結論を出して、先ほどから話されているスクールバスなどの話も、あちらになったらどう、こちらになったらどうだというより、統合先を早く決定して、それに向けて10月以降の統合準備委員会でいろいろなことを検討したほうがいいと思います。
委員	昨年開催された泉校区意見交換会に行かせてもらいました。 保護者の方もいろいろと心配に思っていて、いろいろな意見が出たので、統合に関して考えているなというのを感じ取りました。中学校の統合の主体は子供、親御さんだと思いますので、こういった意見を尊重していただければと思いますので、よろしくをお願いします。 準備期間にいろいろとすり合わせをして、統合がうまくいくような形で進めていただきたいと思います。
委員	統合が決まったときに、なじめる子となじめない子が必ず出るとと思いますので、学校側として、なじめる子はいいのですけれども、本当に人づき合いが苦手な子をフォローする学校の体制づくりもしていただければ保護者の方も安心すると思います。
委員	去年からこの再編検討委員会をやっているわけです。2年目の私としましては、資料の中にPTAのアンケート結果がありますので、これを最大限に評価し、この意見を酌んで早々に結論を出す時期ではないかと思います。 皆さんは、きょう1回目の会ですね。つまり、去年もやったわけです。PTAのアンケート結果を見ると方向はほとんど見えてきます。こちらを重んじて結論を出す方向で考えていけばいいと思います。
委員	資料2-1に再編の基本方針があります。そして、泉地区のアンケートを見ますと、50%の方々が赤羽根中学校を希望という回答が出ております。 なぜ赤羽根中学校を選んだかという理由の一つに、「海拔が高い」、「津波のときに安全だ」と防災関係のことが出ております。

	<p>登下校時に地震が発生した場合、あのあたり川もあります、海が遡上してきます。それと、国道259号線の石神の海側に家があります。海拔が3メートルと聞いております。</p> <p>東南海地震、3連動もあるといわれております。この間、熊本で大きな地震があり、余震が続いています。</p> <p>私が聞かされたことですが、私の家の前に、通称電車道というのがあります。高さは3メートル少しあります。聞くところによりますと、逆断層ということも伺っております。したがって、登下校時に地震が起き、地面に亀裂が発生する、あるいは地面が持ち上がってくる、そういったことはいかがか。私は職業的に、そういったことが起きた場合、実際にハンドルを持っている方が判断、行動するわけですので、そのあたりのことはどのように考えておりますか。</p>
委員	<p>地質学の研究をしている藤城先生が「半島は固い岩盤でできている、大丈夫です」という講演を2回ほど聞いています。さほど心配ありませんということ聞いております。</p>
委員	<p>どちらかに決まったときに、福江中学校の場合は路線バスと言われたのですが、お子さんたちが各バス停から乗るといいますか。</p>
事務局	<p>福江中学校の場合も、今はスクールバスで考えたいと思っています。</p>
委員	<p>スクールバスの場合、お子さんが乗っていくバス停はどのようになるのですか。どこかで集合して行くのか、各自治会まで回っていただけるのか。</p>
事務局	<p>そうしたことは統合準備委員会で検討していきたいと思っています。</p> <p>二つのパターンが考えられると思います。小学校の通学班のように集まって、乗せていくパターンと、あと幼稚園のように自宅近くを通過して、乗せていくというものです。どういう形にするかは、今から検討していくこととなります。</p>
委員	<p>親御さんの負担も多分多くなるときもあると思うのですがけれども、子供を一番に考えていただいて、そうやっていただければ、よい学校生活が送れると思っています。</p>
委員	<p>この再編検討委員会が始まる前に、泉校区として学校を考える会を3、4回開催してきました。その学校を考える会の資料を持っているのですが、平成25年か26年に学校を考える会でアンケートをやっています。そのときには、一応、「統合に賛成」が62%ありました。「どこの学校と統廃合したらいいですか」というのでは、やはり「赤羽根中学校」が約4分の1、「福江、野田」が少数です。あとは、「田原中学校、渥美の新設校をつくったらどうか」という意見がありました。</p> <p>きょうの資料の泉中学校統合についてのアンケートの中では、赤羽根中学校が60件です。そういうことを考えれば、この1年、2年の間に、どこに決めるかと言えば、やはり、このアンケートを尊重すべきではないかと私は思います。</p> <p>それと、親御さんの意見を聞いてみますと、「早く決めてください」「このままずるずる行ったら心配なので、できる限り、ここまで話をしたので、意見はいろいろあると思うけれども、早く決めてもらいたい」という意見が、僕が直接話をした中では非常に多いです。</p>

	<p>中には、「慎重にやったほうがいい」という意見もありますけれども、私はこのアンケートの結果を踏まえて、再編検討委員会の皆さんで最終的に方向性をしっかり決めて、当然、100%のいい結果は得られないと思います。でも、棚上げするわけにはいきませんので、最終的には教育長にお願いして決めてもらいたいと思います。</p>
委員	<p>もし統合したときに、いじめなどの事態が起こるかもしれません。ですので、先生の精鋭化、そういうのにたけた人を、ぜひその学校に充ててほしい。</p> <p>平成27年度のPTA会長はこの検討委員会の委員に入っていますが、平成26年度PTA会長は委員に入っていない。どういう意図でこの場に呼ばなかったのですか。</p>
委員	<p>この検討委員会は平成27年度から始まっています。今年度、継続性がないといけないということで、ことし、私と江比間と伊川津とPTA会長たちに委員として残ってもらいました。彼も熱心にやっているの、後ろの席で意見を聞くように椅子も用意してあります。彼にそういう思いがありましたら、ぜひ今度、参加してくださいと伝えてください。</p> <p>検討委員会の傍聴は自由にできます。</p>
委員	<p>今回初めて副会長をやらせてもらっているのですけれども、やはり保護者の方もそうですし、なれない子もたくさんいると思うので、皆さん案を出していただいて、なるべく子供たちが安心して行ける状態にしていけたらと思います。</p>
委員	<p>小学校の花井前会長が実施していただいたアンケートに関しましては、非常に労力を費やしていただいて、このような資料ができたものと思っております。親の意見がかなり反映されているものと思っております、こちらのアンケートに関しましては、最大限尊重していただきたいと思っております。</p>
委員	<p>私は前年の会長だったので、たまたまアンケートをとらせてもらいました。</p> <p>子供が行く学校なので、やはりいじめも心配だと思いますし、部活動で楽しくやっていければいいかなと思っています。心配なこともたくさんあると思うので、もっと話をしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>先ほどもおっしゃった方がいましたとおり、ここまで結果が出ていて、どういった材料が必要で赤羽根中学校に決まるのか。ここまで出ていて、もしかして福江中学校になることもあるのか、そういったことをもっと、きちんと知りたいです。</p>
委員	<p>先日、学校見学会のお知らせの手紙を保育園にいただいて、保護者の方から、見学に行くに当たって質問を二ついただきました。</p> <p>一つは、まだ小さいお子さんを抱えた方が多いので、学校見学会に小さい子どもを連れていっていいのかと気にされていました。</p>
事務局	<p>中学生は授業中ですので、例えば騒がれたりしたときには、少し配慮していただければと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。あとは、タイムスケジュールを見ると、部活動終了時まで見学すると、17時終了になっています。お迎えの時間が大体16時か16時半なのですがいかがですか。</p>
事務局	<p>途中で帰っていただいても構いません。部活動をごらんいただける最大限の時間で</p>

	<p>御案内していますので、見ていただける範囲で見ていただいて、お迎えがあるので部活動の時間は見られずに帰るとい方が見えても構いません。</p> <p>また、開始時間に間に合わない方も、見えられる時間で、見られる形で来ていただければと思います。</p>
委員	はい、わかりました。ありがとうございました。
委員	先ほどの話の続きですけれども、この学校の概要説明の時間が保育園のお迎えの時間にかかってしまうので、ここが一番、保護者が参加したいというところだったので、いかがでしょうか。
事務局	学校の簡単な資料を用意する予定ですので、説明の時間と都合がどうしても合わない場合には、資料をお持ちいただいて、申し訳ないですけれども、見られる範囲でお願いできたらと思います。
委員長	<p>皆さんに意見を発表していただきました。</p> <p>ほかに、御意見ございませんか。</p> <p>皆さんの意見を聞いていると、既に方向性はかなり出ているのではないかと感じられました。この後、7月には第2回検討委員会が予定されておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、5 その他、事務局からいかがですか。</p>
事務局	<p>事務局から連絡させていただきます。本日の再編検討委員会の内容を委員会だよりとして、世帯や学校にお配りして皆さんにお届けしておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>あと、次回は、7月下旬に開催予定ですので、お願ひしたいと思います。</p> <p>また校区と相談させていただきながら日程調整していきたいと思っています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにないようですので、本日の協議事項は全て終了しました。</p> <p>終わりに当たり、教育長からごあいさつがありますので、よろしくお願ひします。</p>
教育長	<p>長時間にわたり皆さんに慎重審議をしていただき、ありがとうございました。</p> <p>たくさん意見をいただきましたし、また昨年度からの方の意見、そして本年度、新しく加わられた方の意見、それぞれもっともな部分もありますし、私たちも新鮮な気持ちで聞かせていただく中で、今から少し私なりに今後の方向性について、皆さんにも聞いていただけたらと思います。</p> <p>この統合については、泉中学校の問題ではあるのですが、田原市全体、半島全体の問題でもあると思います。</p> <p>野田中学校が田原中学校へ統合したときに、泉地域としても野田中学校が行ってしまったということで、いろいろな声も聞いたわけです。私も教育長として考えると、この渥美半島の子供たちをどうしていくかという視点が一番大きくあるものですから、地域の実情等に応じて、それをうまくまとめていく仕事かなと感じております。</p> <p>統廃合したらいじめが起きてしまった、ふえてしまった、不登校がふえてしまったという、学校の中でのマイナス面が出るような統廃合は進めるつもりもないので、や</p>

	<p>はり一緒になったら、新たなる希望、さらなる可能性が出るような学校再編でないと思いません。</p> <p>小さい学校も決して悪くありません。できれば、小さい学校なりに頑張ってもらいのも一つ方法かなと思います。けれども、子どもたちがだんだん少なくなる中で、教育として、やはりこの人数では授業も盛り上がらない、部活動もなかなか勝てないし、うまくいかないこともありますので、できるだけいい形でやりたいなということは皆さんも同じだと思います。できれば、行く学校は近いほうがいい、これも確かな意見かなと受けとめております。</p> <p>スケジュール等をきょう示させていただいた中で、6月に学校見学会を開催します。この機会に多くの方に学校を見てもらって、考えていただくチャンスにさせていただきたいと思えます。本当はきょうあたり、今までの方だったら大分煮詰まっているだろうと、アンケートを見れば行く学校はわかっているじゃないかということで、ある程度、想像はつくわけですが、私たちも、まだ6月に学校見学会を開催して、ある意味、石橋を渡りながらも、しっかりみんなで合意をつくる中で決めていきたいと考えております。</p> <p>今、アンケートを重視してほしいというようなことも十分尊重しまして、教育委員会として、たたき台、できれば本案を示すつもりで私はいますので、また6月の学校見学会等でいろいろな意見が出てくれば、それが撤回になるかもしれませんが、気持ちとしては、泉中学校については、7月末には、統合先と統合時期をお示しして、皆さんからさらなる御意見を伺って、最終的に9月、10月の段階へ引っ張っていかうかなということ。きょう初めてお聞きなされた方は、私が今言ったことについて、どう思われるかわかりませんので、また、何かありましたら事務局に言っていただいて、できるだけ納得いただく形で最終ラインが見えてくるといいかなと考えております。まだ十分に説明し切れていない部分もありますので、皆さんから御質問、御意見をいただきまして、いろいろなものをできるだけクリアにしていけたらと思えます。</p> <p>今週5月27日の金曜日には、田原中学校で、統合して初めての体育大会が行われます。本日、予行練習が行われたということで、野田の子からすると不安がたくさんあったけれども、大きな学校のたくさんの仲間と一緒に、ある意味、希望に満ちた生活ができていると思っています。</p> <p>御遠慮なく、いろいろ御意見をいただきたいと思えます。</p> <p>長時間、ありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今、教育長から7月に教育委員会としても案を示して、その後、最終方針決定を出してほしいという意見がございました。子供第一ですので、十分よろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、第4回泉中学校再編検討委員会を終了いたします。</p> <p>長時間、ありがとうございました。</p>